

**本道会員が  
講師退任**

体育局の保健体育実務フェニシングの講師を務めていた本道博会員（写真）が平成9年度末をもって退任されました。本道会員は、現役時代の補助員に引き続き、昭和30年卒業後に講師となり、以後42年間の長きにわたって一般学生にフェニシングを教えてきたものです。同会員はスペインに別荘を購入しており、今後は日本とスペインの生活を過すとの事です。長い間ありがとうございました。なお、10年度ごさいました。川名宏美講師と中村立雄OB助手が担当しています。



**岡田会員  
2年連続で世界へ**

岡田千恵子会員（写真）が前年に続き世界選手権代表メンバー（女子エペ）に選ばれました。2月、東京・厚生年金会館で行われた最終選考会で2位（4位までが代表）に入った。10月の世界選手権（スイス）と12月のアジア大会（バンコク）に出場します。なお、同選手会の今回の快挙に対し多数の会員諸氏から資金カ



**平成9年度  
稲光会総会**

平成9年度の稲光会総会が5月8日（金）、母校の大隈会館で開催されました。金子誠会長、戸谷高明部長をはじめ役員約20人が出席。年間事業報告、決算報告等があり承認。また現役紹介、活動状況報告のあと金子会長以下、全幹事の留任が決定され、懇親パーティーに入りました。

**合宿は  
野沢温泉です**

今年の夏期合宿は野沢温泉です。例年より早く8月下旬に入ります。1人でも多い会員諸氏の参加を期待しています。平成10年8月25日（火）～9月3日（木）、場所 長野県下高井郡野沢温泉村9539「けんたろ屋」TEL.0269-62556（一、問合わせ先 部室三三〇三18605 マネージャー高原研介まで

**人介  
新紹**

平成10年度の新人を紹介します。今年は男子にインターハイ7位（エペ）の川尻翼（富山高）、同8位の神野花栄（国際開洋第一高）ら有望選手の推薦入学に加え、学院、本庄学院、早稲田高からも4人が揃って入部するというにぎやかな顔ぶれです。①出身校 ②学部 ③競技歴 ④抱負

**梅本龍人**（うめもと りゅうと）

- ①早稲田大学高等学院
- ②法学部1年
- ③東京都学年別大会ベスト8
- ④自分がやれるだけのことをやりたいと思います。よろしくお願いします。



**川尻 翼**（かわじり つばき）

- ①富山県立富山西高校
- ②教育学部1年
- ③インターハイ個人エペ第7位
- ④さらに上のランクの大会を目指してがんばりたいと考えています。



**神野花栄**（じんのはなえ）

- ①国際開洋第一高校
- ②教育学部1年
- ③アジアアカデット（インドネシア）7位
- ④97年インターハイ8位
- ⑤自分の可能性に挑戦していきたいです。



**真砂紀孝**（まさき のりたか）

- ①香川県立高松高校
- ②理工学部2年
- ③インターハイ個人フルール出場
- ④フェニシングのみならずいろいろなことに挑戦していきたいと考えています。



**藤戸雅俊**（ふじと まことし）

- ①早稲田高校
- ②法学部1年
- ③関東大会出場
- ④高校では不完全燃焼のまま終わってしまったため、大学では先輩方を見習ってがんばりたいと思います。



**野口信道**（のぐち のぶみち）

- ①早稲田大学本庄高等学院
- ②政治経済学部1年
- ③埼玉県大会4位
- ④関東選抜大会団体3位
- ⑤フェニシング部員としてまた、学連の一員として全力でがんばります。



**齊藤宣貴**（さいとうのぶたか）

- ①早稲田大学本庄高等学院
- ②商学部1年
- ③関東選抜大会団体3位
- ④早稲田の名に恥じぬよう気を引き締めてがんばりたいと思います。よろしくお願いします。



**稲光会報**

平成10年7月1日発行  
編集 早稲田大学稲光会  
発行 北原 久安  
題字 稲光会  
印刷 有限会社パイン  
第21巻27号

1ページ.....リーグ戦報告  
2・3.....入替戦報告  
ページ.....リーグ戦スナップ  
3ページ.....新人紹介

**苦かった1部の水**

男子フルール、エペ 女子フルール、エペ



エペには自信を持っていたが……

1部の水は苦かった。平成10年度関東学生リーグ戦は4月19日（日）の開幕戦を皮切りに東京・駒沢体育館で行われました。9年ぶりに1部復帰を果たした男子（フルール、エペ）の活躍が期待されたのですが、気負い過ぎもあって苦戦、接戦、拙戦の連続。結局5位（フルール）、最下位（エペ）という結果に終わりました。（選評は全て監督・川名宏美）

「固くなるや」と言っても無理な話。9年ぶりに踏む1部リーグのピスト。もちろん部員たちにとっては初体験です。必要以上のオーバーアクション。タイムिंगのずれ、そのうえ不用意な近い距離。明らかに平常心を失った気負い過ぎの試合展開でした。

戦をしたものの、後半は息切れ。終われば10点差の大幅でした。第2戦の中大戦では中盤まで20-16とリードしたものの、やはり後半は息切れ。16点差で2連敗と予想外の悪いスタート。

があったのですが、やはり気負い過ぎ。さらに「向うで習ってきたワザで勝負したかった」（本間）というこだわりもありました。それがスピードとタイムング中心のリーグ戦戦法に押し切られ、ずるずると連敗。最終戦で拓大に勝ち、やっと一矢をむくいたものの最下位に終わってしまいました。

男子

フルール

早大 45 立大 45 上智大 45 慶大 45 東大 45 法大 45 拓大 45 京大 45 東大 45 慶大 45 東大 45 法大 45 拓大 45 京大 45

エペ

早大 33 立大 33 上智大 33 慶大 33 東大 33 法大 33 拓大 33 京大 33 東大 33 慶大 33 東大 33 法大 33 拓大 33 京大 33

女子

フルール

早大 25 立大 25 上智大 25 慶大 25 東大 25 法大 25 拓大 25 京大 25 東大 25 慶大 25 東大 25 法大 25 拓大 25 京大 25

エペ

早大 32 立大 32 上智大 32 慶大 32 東大 32 法大 32 拓大 32 京大 32 東大 32 慶大 32 東大 32 法大 32 拓大 32 京大 32

女子

フルール

早大 25 立大 25 上智大 25 慶大 25 東大 25 法大 25 拓大 25 京大 25 東大 25 慶大 25 東大 25 法大 25 拓大 25 京大 25

エペ

早大 32 立大 32 上智大 32 慶大 32 東大 32 法大 32 拓大 32 京大 32 東大 32 慶大 32 東大 32 法大 32 拓大 32 京大 32

リーグ戦成績

